

優良工事市が5件表彰

松本市は17日、Mウ(葉)、新松本工業団地イングで23年度の優良建設工事の表彰式を開いた。昨年度に完成した発注工事(200万円以上)で優秀と認められる工事5件を請け負った業者に対し、菅谷昭市長が表彰状を贈った。

JR南松本駅前から国道19号方面に延びる市道の自転車レーンの整備工事2件(双葉)に、新松本工業団地に関連する下水道開削工事(島立、神林)、市営住宅豊丘団地D棟(寿北7)の新築主体工程、梓川体育館(梓川梓)の耐震補強に伴う電気設備の改修工事の5件を表彰した。副市長ら市職員幹部でつくる審査会が対象工事397件から選んだ。菅谷市長はあいさつで、「品質の良い工事が求められている。これまでも増して研さんを積んでほしい」と述べた。自転車レーンの整備を請け負ったアスピア(宮淵1)の百瀬方康社長は受賞者を代表し、「安全安心に深い関わりを持つ生業としての責務を常に自覚し、市民の目線で地域社会への貢献を目指していく」と述べた。表彰は工事の適正化

や施工技術の向上などを目指して毎年行っている。



菅谷市長から表彰状を受ける請負業者

表彰された工事の請負業者(いずれも松本市)は次の通り。
 ▼アスピア
 ▼アールピナ
 ▼中部工業

小松組▽ハシバテクノ
 ス▽西電設工事
 (長尾浩道)